

みちのくグルーミングスキルコンペティション 2026

出場規定

1. 出場資格

本コンテストの趣旨を理解し、主催者が定める競技ルールおよび当日の進行指示に従える方を対象とします。

出場者は、申込時に希望する部門・クラスを選択してください。

申込内容に虚偽があった場合、主催者判断により出場取消または審査対象外となる場合があります。

2. クラス区分

本コンテストでは、以下の部門・クラスを設けます。

- ・ウィッグ部門：フリースタイルクラス、学生クラス
- ・サロンスタイル部門：インターミディエイトクラス、オープンクラス
- ・スタンダード部門：インターミディエイトクラス、オープンクラス

※インターミディエイトクラスは実務経験3年未満の方、オープンクラスは制限なし、学生クラスは専門学校等の在籍学生を対象とします。

3. モデル犬について

サロンスタイル部門およびスタンダード部門は、出場者自身でモデル犬を同伴してください。モデル犬は健康状態が良好で、競技に支障がない犬に限ります。

狂犬病予防接種および混合ワクチン接種については、原則として接種済みであることを参加条件とします（混合ワクチン接種証明書、または十分な抗体価が確認できる抗体価検査結果の書類をご提出ください。当日証明書等の提示を求められる場合があります）。

以下に該当する犬は出場できません：感染症の疑い、体調不良（下痢、嘔吐、咳、発熱等）、著しい攻撃性、ヒート中、外部寄生虫（ノミ・ダニ等）あり。

※エントリー後にモデル犬を変更される場合は、事前に事務局までご連絡ください。

4. 被毛条件

サロンスタイル部門およびスタンダード部門のモデル犬は、審査に必要な被毛量があることを条件とします。

カット犬種は、オープンクラスでは8週間以上、インターミディエイトクラスでは6週間以上伸ばしていることを目安とします。ブラッキング犬種は4週間以上とします。

全体に3cm以上のコートがあることを原則としますが、生活・衛生管理上必要な足裏、お腹、肛門まわり、目頭の目にかかる毛、パッド内等の事前処理は認めます。プードルの足バリは事前に済ませて構いませんが、顔バリ・尾バリは競技中に行ってください。

5. 競技中に使用できる器具・用品

使用できる器具・用品は、各部門の競技案内に定める内容に従ってください。共通して、犬および周囲の安全を損なうおそれのある器具・用品の使用は禁止します。

サロンスタイル部門では、トップノットを結ぶためのゴムやピンの使用は可能です。ただし、装飾を目的としたリボン・アクセサリー類の使用は不可とします。また、競技中のカラスプレー、その他装飾品の使用はできません（前日までにいったカラーリングは可能です）。

スタンダード部門ではコードレスバリカンの使用を認めますが、コード付きバリカンの使用は不可です。

ウィッグ部門では、カラーリング、デコレーション、装飾品の使用を認めます。

6. 持込器具・テーブル・電源について

出場者は、競技に必要な器具、用品、タオル、シザー、バリカン等を各自で準備してください。主催者が用意するテーブルを使用することを基本としますが、出場者自身のテーブルの持ち込みも可能です（搬入・設置・撤去は自己責任）。

会場内の電源容量には限りがあるため、主催者の許可なく高出力機器を使用することはできません。器具の管理は自己責任で行ってください。

7. 競技中の犬の扱いについて

犬への接し方、保定、安全管理、ストレスへの配慮を重要な審査項目とします。犬に対して無理な姿勢を強いること、

過度に強く引くこと、叱責すること、危険な器具操作を行うことを禁止します。危険と判断された場合は減点または競技中止となる場合があります。

8. 競技の中止・棄権

出場者は、モデル犬の体調や安全を最優先とし、必要に応じて自ら棄権することができます。また、主催者や審査員が危険または体調不良と判断した場合、競技を中止させることがあります。

9. 失格・審査対象外となる場合

申込内容の虚偽、出場資格の不適合、競技ルールの重大な違反、禁止器具の使用、事前処理範囲の超過、モデル犬の健康問題や不適切な扱い、主催者の指示に従わない場合は、失格または審査対象外となります。

10. 会場内での注意事項

会場内での犬の管理、排泄物処理、抜け毛やゴミの清掃は出場者の責任で行ってください。他の参加者や犬の妨げとならないよう配慮し、撮影時は相手の了解を得てください。

11. 審査について

審査は、各部門の採点基準に基づき、審査員が総合的に判断します。審査結果に関する個別の異議申し立ては受け付けません。

12. 免責事項

出場者およびモデル犬に関する事故、怪我、病気、逃走、器具の破損、盗難、トラブル等について、主催者に故意または重大な過失がある場合を除き、主催者は一切の責任を負いません。